

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成21年9月3日(2009.9.3)

【公開番号】特開2008-58678(P2008-58678A)

【公開日】平成20年3月13日(2008.3.13)

【年通号数】公開・登録公報2008-010

【出願番号】特願2006-236284(P2006-236284)

【国際特許分類】

G 0 9 B 5/06 (2006.01)

G 1 0 L 13/06 (2006.01)

G 1 0 L 13/00 (2006.01)

G 1 0 L 15/00 (2006.01)

G 0 9 B 19/06 (2006.01)

G 0 6 F 17/30 (2006.01)

【 F I 】

G 0 9 B 5/06

G 1 0 L 13/06 2 5 0

G 1 0 L 13/00 1 0 0 B

G 1 0 L 13/00 1 0 0 R

G 1 0 L 15/00 2 0 0 E

G 0 9 B 19/06

G 0 6 F 17/30 1 7 0 J

【手続補正書】

【提出日】平成21年7月17日(2009.7.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

例文の音声とテキストとを対応づけて複数記憶する例文記憶手段と、

ユーザ操作により前記複数の例文中の何れかの語句を登録語として指定する登録語指定手段と、

前記登録語と前記複数の例文のうちの当該登録語の指定を受けた登録語含有例文とを対応付けて登録する登録語例文登録手段と、

各見出語に説明情報に対応付けて記憶する辞書情報記憶手段と、

前記見出語のうちの何れかの見出語を選択する見出語選択手段と、

この選択された見出語に対応する前記登録語を検索する登録語検索手段と、

この登録語検索手段により前記登録語が検索された場合に、前記選択された見出語の前記説明情報とともに当該選択された見出語に対応する例文音声がある旨の例文音声有表示を行う例文音声有表示手段と、

この例文音声有表示が行われた状態で、ユーザ操作に応じて前記登録語例文登録手段に登録された前記登録語含有例文を音声出力させる音声出力制御手段と、

を備えることを特徴とする音声出力装置。

【請求項 2】

請求項 1 記載の音声出力装置において、

前記音声出力制御手段は、

前記登録語含有例文中での前記登録語のみを音声出力させる登録語音声出力制御手段を有することを特徴とする音声出力装置。

【請求項 3】

請求項 2 記載の音声出力装置において、
前記音声出力制御手段は、

前記登録語を音声出力させた後、この登録語に対応する前記登録語含有例文を音声出力させる出力順序制御手段を有することを特徴とする音声出力装置。

【請求項 4】

請求項 1 ～ 3 の何れか一項に記載の音声出力装置において、

前記例文記憶手段に記憶された前記複数の例文の音声を音声出力する音声出力手段を備え、

前記登録語指定手段は、

ユーザ操作された時点で前記音声出力手段により音声出力されている語句を前記登録語として指定する出力語句指定手段を有することを特徴とする音声出力装置。

【請求項 5】

請求項 1 ～ 4 の何れか一項に記載の音声出力装置において、

外部音声を録音する録音手段を備え、

前記登録語指定手段は、

ユーザ操作された時点で前記録音手段により録音されている語句を前記登録語として指定する録音語句指定手段を有することを特徴とする音声出力装置。

【請求項 6】

請求項 1 ～ 5 の何れか一項に記載の音声出力装置において、

各例文を表示する例文表示手段を備え、

前記登録語指定手段は、

前記例文表示手段により表示された例文中の語句をユーザ操作により前記登録語として指定する表示語句指定手段を有することを特徴とする音声出力装置。

【請求項 7】

請求項 6 記載の音声出力装置において、

前記例文表示手段は、

前記音声出力制御手段による音声出力中に前記登録語含有例文を表示させるとともに、表示された当該登録語含有例文の各単語を、当該単語の音声出力タイミングで識別表示することを特徴とする音声出力装置。

【請求項 8】

コンピュータに、

例文の音声とテキストとを対応づけて複数記憶する例文記憶機能と、

ユーザ操作により前記複数の例文中の何れかの語句を登録語として指定する登録語指定機能と、

前記登録語と前記複数の例文のうちの当該登録語の指定を受けた登録語含有例文とを対応付けて登録する登録語例文登録機能と、

各見出語に説明情報を対応付けて記憶する辞書情報記憶機能と、

前記見出語のうちの何れかの見出語を選択する見出語選択機能と、

この選択された見出語に対応する前記登録語を検索する登録語検索機能と、

この登録語検索機能により前記登録語が検索された場合に、前記選択された見出語の前記説明情報とともに当該選択された見出語に対応する例文音声がある旨の例文音声有表示を行う例文音声有表示機能と、

この例文音声有表示が行われた状態で、ユーザ操作に応じて前記登録語例文登録機能により登録された前記登録語含有例文を音声出力させる音声出力制御機能と、
を実現させることを特徴とする音声出力プログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 7

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 7 】

請求項 1 記載の発明は、音声出力装置（例えば、図 1 の電子辞書装置 1）であって、
例文の音声とテキストとを対応づけて複数記憶する例文記憶手段（例えば、図 3 の登録
語例文記憶テーブル 8 0、図 6 のステップ S 1 4）と、

ユーザ操作により前記複数の例文中の何れかの語句を登録語として指定する登録語指定
手段（例えば、図 2 の入力部 5；図 6 のステップ S 1 6）と、

前記登録語と前記複数の例文のうちの当該登録語の指定を受けた登録語含有例文とを対
応付けて登録する登録語例文登録手段（例えば、図 6 のステップ S 1 7）と、

各見出語に説明情報を対応付けて記憶する辞書情報記憶手段（例えば、図 2 の辞書デー
タベース 8 4 a）と、

前記見出語のうちの何れかの見出語を選択する見出語選択手段（例えば、図 7 のステッ
プ S 2 1）と、

この選択された見出語に対応する前記登録語を検索する登録語検索手段（例えば、図 7
のステップ S 2 3、明細書 [0 0 6 0]）と、

この登録語検索手段により前記登録語が検索された場合に、前記選択された見出語の前
記説明情報とともに当該選択された見出語に対応する例文音声がある旨の例文音声有表示
を行う例文音声有表示手段（例えば、図 6 のステップ S 1 8、S 1 9）と、

この例文音声有表示が行われた状態で、ユーザ操作に応じて前記登録語例文登録手段に
登録された前記登録語含有例文を音声出力させる音声出力制御手段（例えば、図 2 の C P
U 6 及び音声出力プログラム 8 3；図 7 のステップ S 2 7）と、
を備えることを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 9

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 9 】

請求項 2 記載の発明は、請求項 1 記載の音声出力装置において、

前記音声出力制御手段は、

前記登録語含有例文中での前記登録語のみを音声出力させる登録語音声出力制御手段（
例えば、図 2 の C P U 6 及び音声出力プログラム 8 3；図 7 のステップ S 2 5）を有する
ことを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 0

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 0 】

請求項 3 記載の発明は、請求項 2 記載の音声出力装置において、

前記音声出力制御手段は、

前記登録語を音声出力させた後、この登録語に対応する前記登録語含有例文を音声出力
させる出力順序制御手段（例えば、図 2 の C P U 6 及び音声出力プログラム 8 3；図 7 の
ステップ S 2 5，S 2 7）を有することを特徴とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 1

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【0011】

請求項4記載の発明は、請求項1～3の何れか一項に記載の音声出力装置において、
前記例文記憶手段に記憶された前記複数の例文の音声を音声出力する音声出力手段（例えば、図2の音声出力部3；図7のステップS25，S27）を備え、

前記登録語指定手段は、

ユーザ操作された時点で前記音声出力手段により音声出力されている語句を前記登録語として指定する出力語句指定手段（例えば、図2の入力部5；図15（b）～（d））を有することを特徴とする。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

請求項7記載の発明は、請求項6記載の音声出力装置において、

前記例文表示手段は、

前記音声出力制御手段による音声出力中に前記登録語含有例文を表示させるとともに、表示された当該登録語含有例文の各単語を、当該単語の音声出力タイミングで識別表示することを特徴とする。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

請求項8記載の発明は、音声出力プログラム（例えば、図2の音声出力プログラム83）であって、

コンピュータ（例えば、図1の電子辞書装置1）に、

例文の音声とテキストとを対応づけて複数記憶する例文記憶機能と、

ユーザ操作により前記複数の例文中の何れかの語句を登録語として指定する登録語指定機能と、

前記登録語と前記複数の例文のうちの当該登録語の指定を受けた登録語含有例文とを対応付けて登録する登録語例文登録機能と、

各見出語に説明情報に対応付けて記憶する辞書情報記憶機能と、

前記見出語のうちの何れかの見出語を選択する見出語選択機能と、

この選択された見出語に対応する前記登録語を検索する登録語検索機能と、

この登録語検索機能により前記登録語が検索された場合に、前記選択された見出語の前記説明情報とともに当該選択された見出語に対応する例文音声がある旨の例文音声有表示を行う例文音声有表示機能と、

この例文音声有表示が行われた状態で、ユーザ操作に応じて前記登録語例文登録機能により登録された前記登録語含有例文を音声出力させる音声出力制御機能と、
を実現させることを特徴とする。

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

請求項1, 8記載の発明によれば、ユーザ操作により複数の例文中の何れかの語句が登録語として指定され、この登録語と、複数の例文のうちの当該登録語の指定を受けた登録語含有例文とが対応付けて記憶され、見出語が選択されると、選択された見出語に対応する登録語が検索され、登録語が検索された場合に選択された見出語の説明情報とともに当該選択された見出語に対応する例文音声が有る旨の例文音声有表示がされ、この状態でユーザ操作に応じて登録語含有例文を音声出力させることができるので、登録語に対応付けて登録語含有例文を記憶させ、見出語検索で、説明情報が表示された状態で、見出語と同じ登録語を含む例文を音声出力することができる。従って、登録語が文中での用いられ方に応じて標準的な発音ではなく、変則的な発音や強弱の変化した発音となるときであっても、音声出力対象の例文が単語等の語句に対応付けられていない従来の場合と異なり、この登録語を例文と確実に対応付けて見出語の学習に用いることができるため、例文中で用いられている当該登録語の変則的な発音や強弱の変化した発音について、学習効果を高めることができる。

【手続補正 11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0020】

請求項2記載の発明によれば、登録語含有例文が音声出力されるのに加え、登録語含有例文中での登録語のみが音声出力されるので、登録語の変則的な発音や強弱の変化した発音について、学習効果をいっそう高めることができる。

【手続補正 12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0021】

請求項3記載の発明によれば、登録語が音声出力された後、登録語含有例文が音声出力されるので、登録語の変則的な発音や強弱の変化した発音についての学習効果をいっそう高めることができる

【手続補正 13】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0025

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0025】

請求項7記載の発明によれば、音声出力中に登録語含有例文が表示されるとともに、表示された登録語含有例文中の各単語が当該単語の音声出力タイミングで識別表示されるので、登録語の変則的な発音や強弱の変化した発音について、学習効果をいっそう高めることができる。

【手続補正 1 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 6

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 7

【補正方法】削除

【補正の内容】